

Q&Aで学ぶ

サステナブルファイナンスの

ここでは、サステナブルファイナンスを学ぶにあたり、まずは押さえておきたい基本的な知識についてQ&Aで解説します。

基礎知識

井出 徹太郎 株式会社 NTT データ 金融イノベーション本部 グローバルカスタマーサクセス室

Q1

サステナブルファイナンスって
SDGsとの関係は？



サ

ステナブルファイナンスは、まだ国内外で統一的な定義がないというのが実情です。ただそういつた中でも、強いて広く概念を定義するのであれば、「投融资の意思決定に環境と社会への適切な考慮を織り込んだ金融プロセスとその仕組み」と考ええると良いと思います。これは、

- ① 金融商品・サービスの次元
- ② 経営の次元
- ③ 地域経済と金融システムの次元

といった多角的な次元で、新たな金融の在り方を示す概念です。

もう少し深掘りして考えるために、金融庁「サステナブルファイナンス有識者会議 報告書」を引用します。

① 金融商品・サービスの次元では、「サステナブルファイナンスは、個々の経済活動にともなう正や負の外部性を金融資本市場が適正に織り込み、環境や社会課題を考慮した投融资等を行うことで、環境や社会の課題が改善するなど、それらの経済活動が全体として拠って立つ基盤を保持し強化する効果を持つ」と規定されています。

② 経営の次元、③ 地域経済と金融システムの次元では、「サステナブルファイナンスは、持続可能な経済社会システムの実現に向けた広範な課題に対する意思決定や行動への反映を通じて、経済・産業・社会が望ましいあり方に向けて発展していくことを支える金融メカニズム、すなわち持続可能な経済社会シ

ステムを支えるインフラと位置付けるべきものと考えられる」と説明されています。

従来の戦略に囚われない
発想の転換が必要

また同報告書において、金融機関に期待することとして、「企業には、これまでの事業ポートフォリオに基づく経営戦略に囚われない発想の転換が必要であり、金融機関にはそうした実体経済の移行を先導・誘導する役割も期待される」とされています。

これは融資、コンサルティング、および情報提供等を通じて、企業や地域の環境・社会課題を解決に導くための金融プロセス全体のことを指しています。

評価基準にはESGの観点も採用され、国連の定めた開発目標であるSDGsの達成にも整合的なものと理解しておくのが良いでしょう。